コクゾウムシェアズキゾウムシ

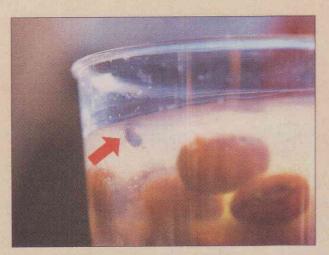
東京の 生活害虫 4



●コクゾウムシ成虫(体長約3mm)



●アズキゾウムシ成虫(体長2~3mm)



●アズキのゼリーに混入していたアズキゾウムシ

コメやアズキは案外に虫がつきやすいものです。 その多くは、小さな甲虫のなかまです。

コクゾウムシ

"お米につく虫"として昔から有名です。成虫の体長は3mm前後、紡すい型をした黒褐色の小さな甲虫で、よく見ると象の鼻のような長い口(口 筋)をしています。

成虫・幼虫ともにコメやムギに被害を与えます。 幼虫は白いウジ状で、穀粒の内部で成長します。

ときどきタタミから発生することがありますが、これは
帯床のワラに穀粒が残っていたためです。

アズキゾウムシ

長く貯蔵されたアズキによく発生する虫です。 成虫は体長2~3mmで赤褐色、室内を飛んでい るのがよく見つかります。幼虫はアズキの内部で 成長し豆を穴だらけにします。

成虫になるまでの期間が短いため、短期間で 大量に発生することがあります。

(防除

コメやアズキの長期保管は避け、早めに使用 します。保管する場合は容器を密閉し、なるべく 低温に保ちます。被害を受けたコメなどは良く陽 に干します。